

事業コンセプト／計画概要

SHIBUYA **AXSH**
渋谷アクシュ渋谷駅と青山・表参道をつなぐ場に
新たなにぎわいの拠点が誕生

渋谷駅とつながる多層かつ回遊性の高い歩行者ネットワークを整備するとともに、渋谷駅周辺に不足する広場空間を創出することで、渋谷駅東口エリアの新たなにぎわいと交流の拠点となることを目指す再開発事業です。

1階～4階の商業フロアには飲食テナントを中心にアートギャラリー、健診センターなど15テナントが出店。さらに1階と2階には歩行者ネットワークと一体になった3つの屋外広場やアトリウム（屋内広場）を多層的に整備。高層部（5階～23階）には高規格なオフィスを配置し、最上階オフィスフロアには屋上テラスも設ける予定です。

脱炭素に向けたサステナブルなまちづくりを目指し、環境配慮型ビルとして省エネルギー施策を積極的に実施しており、すでに取得済みの「ZEB Oriented」認証に加えて、オフィス部分において建築物省エネルギー性能評価制度（BELS）の「ZEB Ready」認証を2023年2月に取得しました。



建物外観イメージ

◆ 歩行者ネットワークを強化

- 周辺が坂道で歩行者の利便性が低いため、1階と2階をつなぐアトリウムにエレベーターやエスカレーターを設置。渋谷駅から青山方面および渋谷クロスタワー方面へのアクセス性を改善
- 宮益坂から渋谷クロスタワーなど周辺街区間と接続するデッキを整備し新たに人々が集い憩えるオープンスペースと商業店舗を歩行者動線上に沿って配置



渋谷ヒカリエ側広場のイメージ

◆ ゆとりある広場の創出

- ヒカリエ側広場と青山側広場では、坂道の中腹に位置する立地特性を生かし、段差を使ったベンチや階段で憩いのある空間を整備
- 季節感の感じられる植栽を豊かに配置することで潤いのある広場を実現



青山側広場のイメージ

◆ 緑豊かな屋内空間

- 1、2階のアトリウムは広々とした吹き抜け空間を生かし、インテリアグリーンを手掛けるSOLSOと協働して緑量豊かな空間を実現。特に2階天井に配置された「垂直庭園」は、フロアで分断されがちなビル空間を緑でつなぐ大きな要素となっており、空間全体の緑視率向上にも貢献
- 3階のオフィスエントランスは植栽をふんだんに配置することで緑あふれる雰囲気を作り上げ、渋谷をホームタウンにする企業にふさわしいオフィス空間を実現



3階 オフィスエントランスのイメージ



1、2階 アトリウムのイメージ

建物の概要

施行者	渋谷二丁目17地区市街地再開発組合	階数	地上23階、地下4階
施行地区	東京都渋谷区渋谷二丁目100番地	高さ	約120m
用途	事務所、店舗、駐車場等	設計者	渋谷二丁目17地区設計共同企業体
施工面積	約0.5ha	施工者	株式会社竹中工務店
敷地面積	約3,460㎡	開業	2024年7月8日
延床面積	約44,500㎡		